

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 永史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 大久保 光敏 (TEL) 048-845-2200
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,135	1.8	181	52.4	179	69.1	118	80.7
29年3月期第2四半期	4,061	14.7	119	173.7	105	121.6	65	101.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 114百万円(53.6%) 29年3月期第2四半期 74百万円(107.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	80.11	—
29年3月期第2四半期	44.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,336	4,047	63.9
29年3月期	6,425	4,058	63.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,047百万円 29年3月期 4,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,543	7.5	550	△11.6	556	△10.4	373	△8.6
								252.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	1,480,000株	29年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	287株	29年3月期	287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	1,479,713株	29年3月期2Q	1,479,713株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績及び堅調な雇用・所得状況により緩やかな回復基調で推移しました。今後の景気の先行きにつきましても、地政学的リスクによる為替市場の急激な変動といった懸念材料はありますが、引き続き回復基調が続くと予想されます。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ソフトウェア投資はおおむね横ばいとなりました。

このような状況のもと、当社グループは17中期経営計画(2015年度～2017年度)の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、システム販売及びシステム運用・管理等のセグメントで増加し、4,135百万円(前年同四半期と比べ1.8%増収)となりました。損益につきましては売上高の増加及び売上原価の低減により、営業利益181百万円(同52.4%増益)、経常利益179百万円(同69.1%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益118百万円(同80.7%増益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①機器等販売

売上高は文教案件の機器販売が増加したこと等により、847百万円(前年同四半期と比べ3.3%増収)となりました。セグメント損益は売上原価及び販売費の低減により、70百万円の利益(同142.4%増益)となりました。

②ソフトウェア開発

売上高は前年同四半期に大型案件の売上があったこと等により、507百万円(同25.1%減収)となりました。セグメント損益は売上高の減少により、77百万円の利益(同38.8%減益)となりました。

③システム販売

売上高は生コン協組向けシステム及び画像処理システム等が増加したことにより、1,244百万円(同16.1%増収)となりました。セグメント損益は売上高の増加及び販売費の低減により、186百万円の利益(同129.4%増益)となりました。

④システム運用・管理等

売上高はシステム運用支援等の増加により1,535百万円(同3.0%増収)となりました。セグメント損益は売上高の増加により408百万円の利益(同8.2%増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、3,805百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が395百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、2,530百万円となりました。これは、主に有形固定資産その他に含まれているリース資産（有形）が16百万円、投資その他の資産その他に含まれている不動産敷金が24百万円増加したものの、無形固定資産が47百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、6,336百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、1,872百万円となりました。これは、主に買掛金が41百万円、未払法人税等が80百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、416百万円となりました。これは、主に退職給付に係る負債が3百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、2,288百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、4,047百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を118百万円計上したものの、株主配当金の支払が125百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度（平成30年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高9,543百万円、営業利益550百万円、経常利益556百万円、親会社株主に帰属する当期純利益373百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	845,456	918,028
受取手形及び売掛金	1,887,939	1,492,742
リース投資資産	429,331	437,699
商品及び製品	93,225	84,735
仕掛品	323,865	561,214
原材料及び貯蔵品	38,191	33,356
その他	256,036	279,133
貸倒引当金	△1,960	△1,721
流動資産合計	3,872,083	3,805,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	652,496	644,044
土地	531,977	531,977
その他(純額)	417,389	433,420
有形固定資産合計	1,601,862	1,609,442
無形固定資産	410,439	362,826
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	209,090	212,484
その他	359,689	382,504
貸倒引当金	△27,646	△36,420
投資その他の資産合計	541,133	558,568
固定資産合計	2,553,435	2,530,837
資産合計	6,425,519	6,336,027
負債の部		
流動負債		
買掛金	694,868	653,236
短期借入金	-	70,000
未払費用	258,576	232,158
未払法人税等	144,788	64,278
賞与引当金	347,587	323,409
アフターコスト引当金	44,398	29,604
受注損失引当金	-	1,019
その他	461,202	498,361
流動負債合計	1,951,422	1,872,067
固定負債		
退職給付に係る負債	2,357	5,551
その他	413,005	410,703
固定負債合計	415,363	416,255
負債合計	2,366,785	2,288,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	2,960,530	2,953,294
自己株式	△462	△462
株主資本合計	3,977,889	3,970,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,145	133,161
退職給付に係る調整累計額	△59,301	△56,110
その他の包括利益累計額合計	80,844	77,051
純資産合計	4,058,733	4,047,705
負債純資産合計	6,425,519	6,336,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,061,023	4,135,434
売上原価	3,162,943	3,112,625
売上総利益	898,080	1,022,808
販売費及び一般管理費	778,748	840,964
営業利益	119,332	181,844
営業外収益		
受取利息	16	5
受取配当金	2,268	2,294
受取手数料	406	1,040
補助金収入	1,548	9,962
その他	1,468	1,705
営業外収益合計	5,710	15,008
営業外費用		
支払利息	785	641
売上割引	2,143	1,314
貸倒引当金繰入額	15,000	10,000
事務所移転費用	-	4,597
その他	1,240	1,270
営業外費用合計	19,169	17,823
経常利益	105,873	179,028
特別損失		
固定資産除却損	686	657
特別損失合計	686	657
税金等調整前四半期純利益	105,187	178,371
法人税等	39,589	59,830
四半期純利益	65,597	118,540
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,597	118,540

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	65,597	118,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,329	△6,984
退職給付に係る調整額	3,764	3,191
その他の包括利益合計	9,093	△3,793
四半期包括利益	74,691	114,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,691	114,747
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	110,978	75	平成28年3月31日	平成28年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月12日 取締役会	普通株式	125,775	85	平成29年3月31日	平成29年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	820,455	678,441	1,071,703	1,490,423	4,061,023	—	4,061,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	8,702	392	5,909	15,120	△15,120	—
計	820,571	687,144	1,072,095	1,496,333	4,076,144	△15,120	4,061,023
セグメント利益	28,939	127,161	81,478	378,001	615,580	△496,248	119,332

(注) 1 セグメント利益の調整額△496,248千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	847,378	507,863	1,244,434	1,535,757	4,135,434	—	4,135,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,708	2,534	16,009	29,251	△29,251	—
計	847,378	518,572	1,246,968	1,551,766	4,164,686	△29,251	4,135,434
セグメント利益	70,142	77,792	186,900	408,997	743,832	△561,988	181,844

(注) 1 セグメント利益の調整額△561,988千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。